

NEWS RELEASE

「令和」に変わって最初の展覧会 「知られざる?!大和文華館コレクション展」を開催します ～土偶や埴輪といった考古遺品が出陳されます～

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、2019年5月24日（金）から7月7日（日）まで、「知られざる?!大和文華館コレクション展」を開催します。

大和文華館のコレクションの礎を築いた、初代館長の美術史家・矢代幸雄（1890～1975）は、コレクション収集に際して、時代や地域、ジャンルに偏りがないことを重視しました。鑑賞価値を第一に、個人の趣味や好みに影響されない、美術史を意識したバランスの良いコレクションを目指し、土偶や土器、埴輪といった日本考古の遺品も収集しており、重要文化財に指定される埴輪を二件所蔵しています。

展覧会では、近年の研究によってその重要性が再認識された考古遺品や絵画、彫刻に着目し、普段あまり展示されない、知られざるコレクションの一端をご紹介します。展示作品を通じて、コレクションの奥深さを味わっていただければと考えています。詳細は別紙のとおりです。



（左）土偶立像 縄文時代



（中）重文 埴輪鷹狩男子像 古墳時代



（右）重文 埴輪男子立像 古墳時代

別紙

<1> 展覧会について

1. 名称 「知られざる?!大和文華館コレクション展」
2. 会期 5月24日(金)~7月7日(日)
3. 休館日 毎週月曜日
4. 開館時間 10:00~17:00(入館は16:00まで)
5. 入館料 一般 620円 高校・大学生 410円 小学・中学生 無料
6. 主催 大和文華館
7. 出陳品数 57件

【日本考古】

- ・土偶坐像 日本・縄文時代後期一晩期
- ・縄文大壺 日本・縄文時代後期
- ・縄文注口土器 日本・縄文時代晩期
- ・弥生壺 日本・弥生時代
- ・埴輪家 日本・古墳時代
- ・翡翠勾玉 日本・古墳時代

【東洋考古】

- ・金銅亀鈕印 中国・漢時代
- ・灰陶加彩誕馬 中国・南北朝時代
- ・塑造武人俑 中国・唐時代
- ・犬塑像 中国・唐時代
- ・飛天文軒平瓦断片 朝鮮・統一新羅時代
- ・鳳凰唐草文軒平瓦断片 朝鮮・統一新羅時代

【絵画・彫刻】

- ・木造菩薩立像 日本・平安時代
- ・木造地藏菩薩立像 日本・鎌倉時代
- ・大威徳明王図像 日本・鎌倉時代
- ・不動明王図 日本・室町時代
- ・愛染明王図(大津絵) 日本・江戸時代 など

<2> 会期中のイベントについて

1. 特別講演「考古学者が考える美」
 - (1) 日時・場所 6月30日(日) 14:00から講堂にて
 - (2) 講師 東京国立博物館 考古室長 品川欣也氏
2. 日曜美術講座「知られざる?!大和文華館の絵画コレクション」
 - (1) 日時・場所 6月9日(日) 14:00から講堂にて
 - (2) 講師 大和文華館 学芸員 古川撮一

3. 講座 美術の窓「連続講座 北斎一神の領域に至らん」

第1回「春朗、宗理期—1779~1798」

- (1) 日時・場所 6月2日(日) 14:00から講堂にて
- (2) 講師 大和文華館 館長 浅野秀剛

4. 列品解説

- (1) 日時・場所 毎週土曜日 14:00から展示場にて
- (2) 解説 大和文華館 学芸部

5. 華コンサート ※要整理券 10:00より受付棟にて配付

- (1) 日時・場所 6月1日(土) 13:00から講堂にて
- (2) 演奏 田久保友妃(ヴァイオリン)・牲川旬哉(ピアノ)

何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

以 上